

エコアクション 21
環境経営レポート

実施期間

2022年7月1日～2023年6月30日



2023年9月30日発行



関東磁産株式会社

1. 環境経営方針	P. 3
2. 組織の概要	P. 4
3. 対象範囲	P. 8
4. 環境経営目標及び環境経営目標の実績	P. 9
5. 環境経営計画及び環境経営計画に基づき実施した取り組み内容 環境経営計画の取組結果とその評価	P. 10
6. 次年度の取り組み内容	P. 11
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P. 12
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 13

1. 環境経営方針

関東礫産株式会社の環境経営方針

環境経営理念

現在、地球温暖化や海洋汚染が世界の喫緊の課題となっている中で、関東礫産株式会社は、海上や陸上での産業廃棄物の収集運搬や処理に40年以上にわたって取り組んできたエキスパートとして環境活動に自主的、積極的に取り組んでいきます。

次世代に美しい地球を残すため、当社の有する移動型の廃油処理施設などの技術や今まで培ってきた処理システムにより、法令に則った安全で信頼できる廃棄物処理を社員一丸になって取り組み、環境経営を継続的に改善していきます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規、当社の規定の法令の遵守を図るとともに、海難事故に備えた訓練を徹底していきます。
2. 当社の技術を生かし、環境に負荷を与えない船舶の含油廃水の処理に努めていきます。また、廃棄物排出量の削減に努めます。
3. 創意工夫を凝らした省エネルギーにより、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 適正な利用により水の使用量の削減に努めます。
5. 社員にこの環境経営方針を徹底するとともに、環境配慮作業の教育訓練を徹底していきます。
6. 地域での環境活動に積極的に参加するとともに、当社の海水処理の技術、実績等について積極的に広報していきます。

2021年7月1日制定

2023年2月8日改訂

関東礫産株式会社
代表取締役 山宮 裕貴

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

関東砒産株式会社

代表取締役 山宮 裕貴

(2) 所在地

・本社

神奈川県横浜市神奈川区子安通3-359-6

・エビス橋エコサイクル

神奈川県横浜市神奈川区恵比須町1番地

(3) 環境管理責任者・担当者及び連絡先

環境管理責任者 今橋 賢一郎

担当者 末木 三郎 佐久間由恵

連絡先 〒221-0021 神奈川県横浜市神奈川区子安通3-359-6

Tel 045-453-3666

Fax 045-453-0285

E-mail kantohkosan@do3.enjoy.ne.jp

(4) 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業、タンク・ピット清掃等
船舶の含油廃水の収集運搬・処理事業

(5) 事業の規模

法人設立年月日 1974年5月

資本金 3,200万円

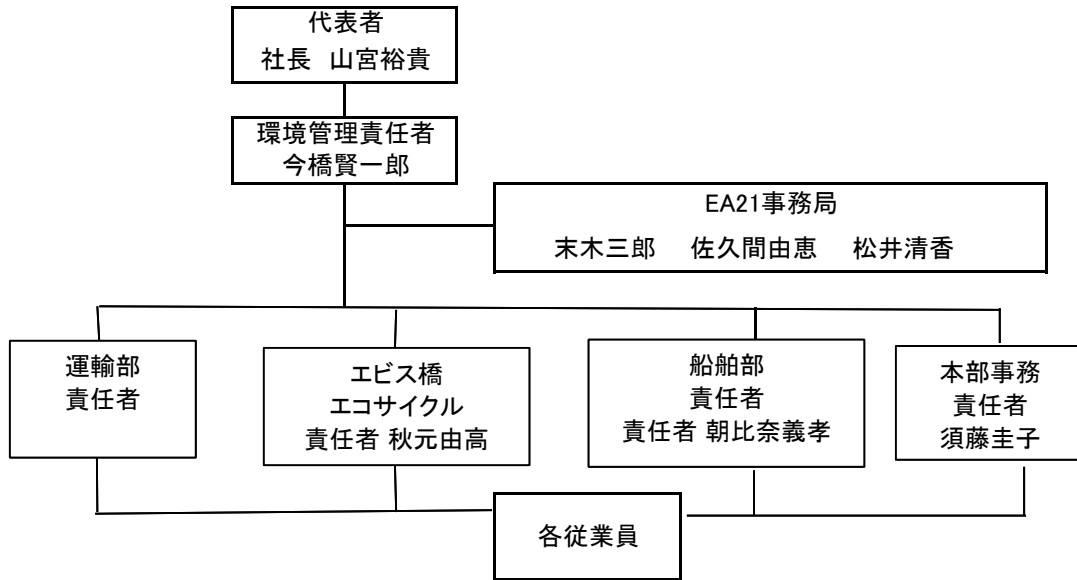
売上高 7.8億円

組織図 別紙1のとおり

廃棄物	収集運搬量(t)	14,148.69
	処分量(t)	0
含油廃水 (船舶)	収集運搬量(t)	2,219.33
	中間処理(t)	2,219.33
従業員数	19名 本部7名 運輸部4名 エビス橋エコサイクル3名 船舶部5名	
延床面積	354.5m ²	

(6) 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年1月31日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
各責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
各従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

(7) 許可の内容

(7) - 1. 産業廃棄物収集運搬

許可者	許可番号	許可年月日	事業の区分 (積替保管)	燃え が ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プラ	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 渣	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス 陶 磁 器	鉢 さい	が れ き 類	ば い じ ん
		有効年月日																	
神奈川県	第01401023921号	2019.11.20	収集運搬 (無)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2024.10.31																	
東京都	第1300023921号	2022.5.1	収集運搬 (無)		○	○	○	○							○				
		2027.4.30																	
埼玉県	第01101023921号	2020.11.10	収集運搬 (無)		○	○	○	○											
		2025.9.13																	
千葉県	第01200023921号	2019.6.4	収集運搬 (無)	○	○	○	○	○							○		○	○	○
		2024.5.26																	
茨城県	第00801023921号	2019.6.14	収集運搬 (無)	○	○	○	○	○							○		○		○
		2024.4.14																	
群馬県	第01000023921号	2022.6.12	収集運搬 (無)		○	○	○	○											
		2027.6.11																	
栃木県	第00900023921号	2019.12.14	収集運搬 (無)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		2024.12.13																	
山梨県	第01900023921号	2022.10.4	収集運搬 (無)		○	○	○	○											
		2027.10.3																	
静岡県	第02201023921号	2022.7.2	収集運搬 (無)		○	○	○	○											
		2027.7.1																	
広島県	第03400023921号	2022.7.8	収集運搬 (無)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2027.7.7																	
長崎県	第04200023921号	2022.10.26	収集運搬 (無)		○	○	○	○	○			○	○	○	○				
		2027.10.25																	
沖縄県	第04712023921号	2022.9.12	収集運搬 (積)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2026.5.8																	
愛知県	第02300023921号	2023.3.14	収集運搬 (無)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		2028.3.13																	

(7) - 2. 特別管理産業廃棄物

許可者	許可番号	許可年月日	事業の区分 (積替保管)	廃 油	廃 酸	酸 アル カリ	汚 泥	感 染 性 産 業 廃 棄 物	特 定 有 害 産 廃 (金 属 等 含 む)	特 定 有 害 産 廃 (金 属 等 含 む)
		有効年月日								
神奈川県	第01451023921号	2022.8.23	収集運搬 (無)	○	○	○				○
		2027.8.22								
東京都	第1350023921号	2022.6.10	収集運搬 (無)	○	○	○				○
		2027.6.9								
千葉県	第01250023921号	2023.6.21	収集運搬 (無)	○	○	○				○
		2028.5.21								
茨城県	第00851023921号	2019.6.14	収集運搬 (無)	○	○	○	○			
		2024.4.14								

次表参照

(7) - 2 - 1 特定有害産廃(金属等を含む)

許可都市		神奈川県				東京都				千葉県				茨城県			
許可番号		01451023921				1350023921				01250023921				00851023921			
金属等の名称		廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
1	アルキル水銀																
2	水銀又はその化合物		○	○	○		○	○	○		○	○	○				
3	カドミウム又はその化合物		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○
4	鉛又はその化合物		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○
5	有機燐化合物																
6	六価クロム化合物		○	○	○		○	○	○						○	○	○
7	砒素又はその化合物		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○
8	シアン化合物										○	○	○				
9	P C B																
10	トリクロエチレン	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			
11	テトラクロエチレン	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			
12	ジクロメタン	○				○	○		○	○				○			
13	四塩化炭素			○	○							○	○	○			
14	1,2-ジクロエタン	○			○	○	○		○	○			○	○			
15	1,1-ジクロエチレン	○			○	○	○		○	○			○	○			
16	シス-1,2-ジクロエチレン					○	○		○					○			
17	1,1,1-トリクロエタン					○	○		○					○			
18	1,1,2-トリクロエタン					○	○		○					○			
19	1,3-ジクロプロペン					○	○		○					○			
20	チウラム						○		○								
21	シマジン																
22	チオベンカルブ		○									○					
23	ベンゼン	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				
24	セレン又はその化合物																
25	ダイオキシン類																
26	1,4-ジオキサン	○	○	○	○					○	○	○	○				

(7) - 3 廃油処理事業 (海上収集運搬、処理)

許可者	関東運輸局
許可番号	関海安 148号

(8) 処理実績

処理方法	廃棄物等種類	収集運搬量(t)	処理量(t)
陸上収集運搬	廃アルカリ	6,679.94	0
	強廃アルカリ	632.88	0
	1,4ジオキサン	220.45	0
	廃酸	2,561.69	0
	汚泥	432.53	0
	廃油	3,621.21	0
含油廃水処理(船舶)	廃油	2,219.33	2,219.33

(9) 施設等の状況

収集運搬業: 運搬車両

種類	最大積載量 (総トン数)	台数
清掃車	10t	4
清掃車	4t	1
キャブオーバ	1.5t	1
キャブオーバ	0.35t	1
船舶	(18t、19t)	3
台船	(356t ~ 1061t)	7

積替え保管施設(沖縄県の許可証の場合のみ)

積替えを含み、保管を含まない

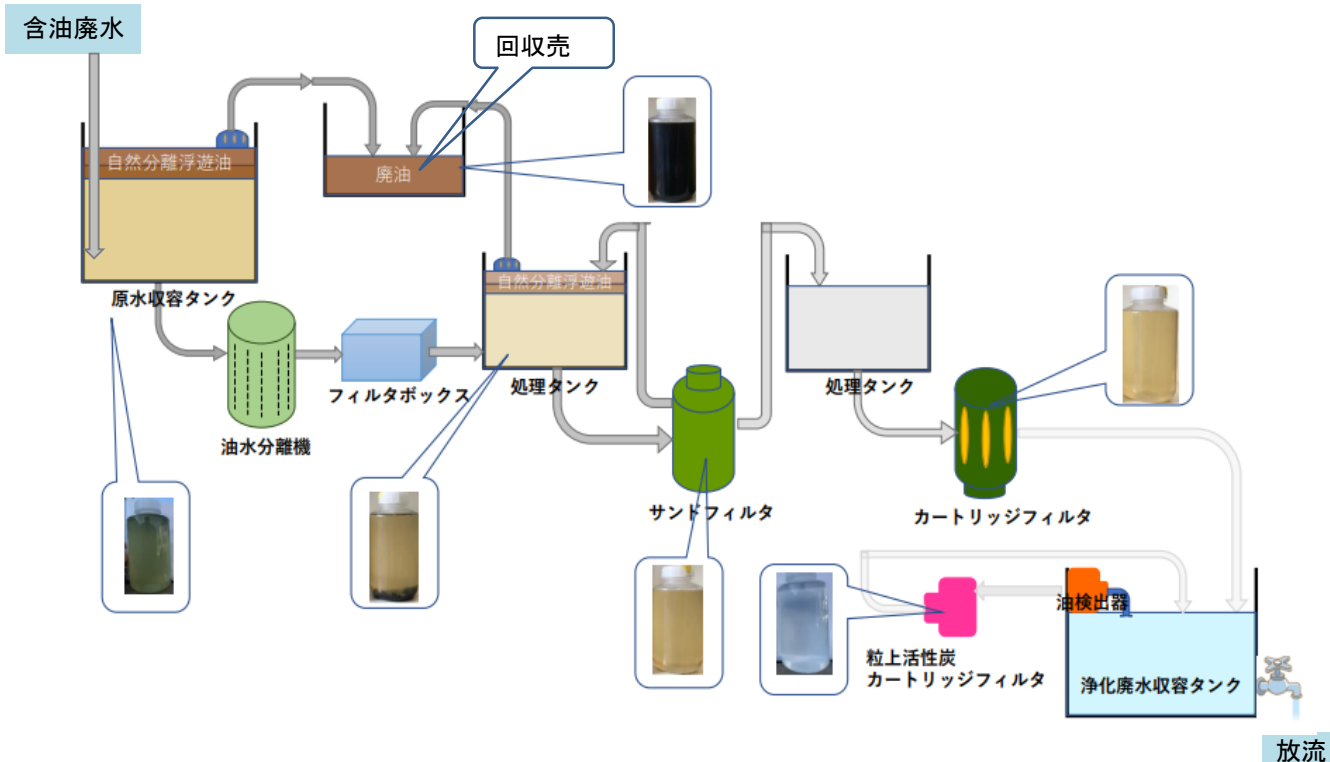
積替え場所: 那覇港(那覇市を除く)、運天港、平良港、石垣港、金武湾港、中城湾港

面積 0㎡ 保管上限量 0㎡

処分業: 処理施設の種類の、処理する産業廃棄物の種類、処理能力(規模)、処理方式、処理工程図

処理施設の種類の	処理する産業廃棄物の種類の	処理能力	台数
油水分離	船舶の含油廃水	10m ³ /h	2

含油廃水処理工程図



3. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

- ・本社、エビス橋エコサイクル

(2) 認証・登録対象活動

- ・産業廃棄物収集運搬業、船舶の含油廃水収集運搬・処理事業

4. 環境経営目標及び環境経営目標の実績

環境目標	2022年度目標				2023年度目標			
	基準	年度目標	実績	実績評価	基準	年度目標	中期目標	
	2020年度(実績)	2022年度			2022年度(実績)	2023年度	2024年度	2025年度
	運用期間相当 2020年7月 ～2021年6月	運用期間 2022年7月～2023年6月			運用期間 2022年7月 ～2023年6月	運用期間 2023年7月 ～2024年6月		
1. 二酸化炭素 排出量の削減	(排出量) 638,195 kg-CO ₂	12.0% 削減 561,607 kg-CO ₂	1.25% 増加 568,635 kg-CO ₂	×	(排出量) 568,634 kg-CO ₂	0.5% 削減 566,068 kg-CO ₂	0.5% 削減 565,791 kg-CO ₂	0.7% 削減 564,399 kg-CO ₂
2.1 電力使用 量の削減(1)	電力使用量 38,063 kWh 17,395 kg-CO ₂	1.0% 削減 37,682 kWh 17,221 kg-CO ₂	154.0% 増加 95,715 kWh 43,742 kg-CO ₂	×	電力使用量 95,715 kWh 43,741 kg-CO ₂	0% 削減 95,715 kWh 43,741 kg-CO ₂	0.5% 削減 95,236 kWh 43,522 kg-CO ₂	0.8% 削減 94,949 kWh 43,391 kg-CO ₂
2.2 ガソリン 使用量の削減	ガソリン使用量 1,835 L 4,257 kg-CO ₂	1.5% 削減 1,807 L 4,193 kg-CO ₂	176.5% 増加 4,997 L 11,592 kg-CO ₂	×	ガソリン使用量 4,997 L 11,592 kg-CO ₂	0% 削減 4,997 L 11,592 kg-CO ₂	0.5% 削減 4,972 L 11,534 kg-CO ₂	0.8% 削減 4,957 L 11,499 kg-CO ₂
2.3 軽油 使用量の削減	軽油使用量 89,166 L 230,049 kg-CO ₂	8.0% 削減 82,033 L 211,645 kg-CO ₂	6.0% 削減 77,083 L 198,874 kg-CO ₂	○	軽油使用量 77,083 L 198,874 kg-CO ₂	0.5% 削減 76,698 L 197,880 kg-CO ₂	0.5% 削減 76,698 L 197,880 kg-CO ₂	0.8% 削減 76,466 L 197,283 kg-CO ₂
2.4 A重油 使用量の削減	A重油使用量 142,550 L 386,311 kg-CO ₂	15.0% 削減 121,168 L 328,364 kg-CO ₂	4.3% 削減 115,975 L 314,292 kg-CO ₂	○	A重油使用量 115,975 L 314,292 kg-CO ₂	0.5% 削減 115,395 L 312,721 kg-CO ₂	0.5% 削減 115,395 L 312,721 kg-CO ₂	0.7% 削減 115,163 L 312,092 kg-CO ₂
2.4 LPG 使用量の削減	LPG使用料 61 kg 184 kg-CO ₂	0.0% 削減 61 kg 184 kg-CO ₂	26% 削減 44.9 kg 135 kg-CO ₂	○	LPG使用料 44.9 kg 135 kg-CO ₂	0% 削減 44.9 kg 135 kg-CO ₂	0.0% 削減 44.9 kg 135 kg-CO ₂	0.5% 削減 44.7 kg 134 kg-CO ₂
3. 廃棄物 排出量の削減(2) (一廃排出量)	(一廃排出量) 1,157.19 kg (18360.18kg)	1.0% 削減 1,145.62 kg	31.2% 削減 787.8 Kg	○	産廃物排出量 787.8 kg	0.5% 削減 783.9 kg	0.7% 削減 782.3 kg	0.7% 削減 782.3 kg
4. 水資源 投入量の削減	(水使用量) 182.80 m ³	1.0% 削減 181.0 m ³	0.8% 増加 182.5 m ³	×	(水使用量) 182.5 m ³	0.5% 削減 181.6 m ³	0.5% 削減 181.6 m ³	0.5% 削減 181.6 m ³
5. 環境配慮 作業の教育・訓練	教育訓練の 実施回数 1～2回	1～2回	1～2回	○	教育訓練計画に 基づいた実施回数 1～2回	1～2回	2回以上	2回以上
6. 地域環境活動	地域環境活動の実施 1回	2回	2回	○	地域環境活動の実施 2回	2回	2回	2回

注(1)購入電力のCO₂排出係数: 0.457kg-CO₂/kWh

注(2)化学物質の使用はない

注(3)目標の削減率は基準値に対し、実績の削減率は目標値に対する数値である。

注(4)実績評価 ○: 目標達成、×: 目標未達

5. 環境経営計画及び環境経営計画に基づき実施した取組内容、環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営計画 施策	環境経営計画に基づき実施した取組内容及び取組結果(2022年7月～2023年6月)	取組 評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ・特に軽油と重油の使用量削減を中心取り組む。 ・社員の各項目に対する意識の醸成を図る。	① 5月にEA21の認証・登録し社員のCO2削減の意識が向上し、取組は実施した。 ② 弊社のCO2削減の中心は軽油と重油の削減であり、この2項目の施策を重点的に取り組んだ結果、2項目は削減することが出来た。しかし、新規に民間船舶、外国艦船等の取引が始まり、低ランクの廃油処理の増加と、廃油以外の廃水処理の増加により、大幅に廃水処理時間が増加し使用電力の増加となり、また、遠隔地での営業活動の増加によりガソリンの使用量が増加し、二酸化炭素排出量削減目標は僅かに未達(1.25%増加)になった。	○
2.1 電力使用量削減 ①節電運動の習慣化を図る。 ②クールビズ、ウォームビズの徹底(冷房28℃暖房20℃) ③装置、機器の不使用时の電源OFFの徹底	① 計画の施策の①～③は実施した ② 特に、PCの短時間で離席時のスリープ利用、休憩時間の不使用箇所の消灯、トイレ、給湯室、通路など不必要な照明の消灯を励行した ③ コピー機の節電モードの利用し待機電力の削減をはかった ④ 業務効率を上げ、残業を減らし、オフィスでの環境負荷削減 ⑤ 節電に関する社員の意識も十分向上しており習慣化が認められた ⑥ 取組は十分行ったが、上記二酸化炭素排出量の削減に記載した理由で削減目標未達になった	○
2.2 ガソリン使用量削減 ①営業時間、ルート等の見直しをするなどの効率化を図りガソリン使用量削減を図る。 ②エコドライブの徹底	① 計画の施策の①～②は実施した ② 月次の運輸部会議で燃費の集計結果等を発表しエコドライブの意識の醸成 ③ エコドライブの各項目実施を徹底した。不要の荷物の整理、ルート見直し、始業点検の徹底で効果があった。 ④ 営業範囲の集約化、ルートの効率化の見直しをしたが、営業形態の変更で削減目標未達になった	○
2.3 軽油の使用量削減 ①運搬時間帯の調整を図り渋滞を避けて軽油使用量の削減を図る。 ②エコドライブの徹底	① 計画の施策の①～②は実施した ② 交通状況の変化を社内ネットワーク等を使ってドライバー間で共有化し、運搬時間の短縮化が図れた ③ 顧客と小まめに運搬時間帯の調整を行い運搬時間の短縮化が図れた ④ 上記の取組の結果、削減目標を達成した	○
2.4 A重油の使用量削減 ①船底の清掃を定期的に行い燃費の削減を図る。 ②停船時の補機エンジン使用の徹底。	① 計画の施策の①～②は実施した ② 船底の清掃を一年に一回以上行った結果、燃費の改善が出来た ③ 航路は効率的に運行した ④ 上記の取組の結果、削減目標を達成した	○
2.5 LPGの使用量削減 ①給湯温度の低温設定の励行 ②小まめな節水の徹底	① 計画の施策の①～②は実施した ② 冬季の給湯の温度を20℃の低温設定とした ③ 出しっ放しをせず、小まめな節水は習慣化できている ④ 上記の取組の結果、削減目標を大きく達成した	○
3.廃棄物の排出量の削減 (一廃排出量) ①廃棄物分別の徹底 ②コピー機操作前のリセットの徹底でミスコピーをなくす。 ③両面、裏面印刷の励行 ④コピー紙、雑紙のリサイクル	① 計画の施策の①～④は実施した ② 廃棄物の分別はほぼ完ぺきに習慣化されている ③ コピー機の前に「操作前のリセット」ポスターを掲示し注意喚起した結果、ミスコピーはほとんど無くなった ④ 両面、裏面印刷が徹底されておりコピー用紙の使用量は減少し、結果として廃棄物排出量の削減につながった ⑤ 上記の取組の結果、削減目標を達成した	○
4.水資源投入量の削減 (水使用料) ①洗車方法の改善(バケツ式、雨水利用) ②小まめな節水の徹底	① 計画の施策の①～②は実施した ② 屋上緑化庭園の散水用の雨水を洗車に使用したことと、洗車時の節水意識の徹底等の効果で削減が出来た ③ 取組を行ったが、1台増車もあり僅かに削減目標が未達になった	○
5. 環境配慮作業の教育・訓練 ①教育訓練計画に基づき教育訓練を行う。	① 教育訓練計画に基づき計画書通りの訓練が出来た	○
6. 地域環境活動 ①横浜清港会の会員として横浜港の環境保全、美化活動を行う。	① 横浜港湾内の塵芥、漂流物の除去等の出番はなかったものの清掃用ゴム手袋130双を寄贈した ② 地元の新子安3丁目町内会に、カラスよけゴミネットボックス、清掃用品を寄贈した	○

○:計画通り取組を行った、×:計画通りの取組ができなかった

6. 環境経営計画の次年度取り組み内容

取り組み項目	次年度の取り組み内容
1. 電力使用削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室の空調を夏季:28℃ 冬季:20℃ ・事務室等の照明器のLED化の継続推進 ・不使用箇所の照明消灯 ・コピー機の節電モード励行 ・パソコンのスリープモードの使用励行
2. 軽油、ガソリン使用削減	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬ルートの変更や渋滞の少ない時間帯の運搬を検討しより効率化を図る。 ・エコドライブの徹底 ・車両点検チェックリストにより毎日の車両点検整備の励行 ・不要な材料や工具等を車両に載せず、軽量化を図る。
3. A重油の使用削減	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶運用の効率化を図り、無駄のない配船計画の策定 ・停船時の補機エンジンの使用の徹底 ・船舶運搬ルートを検討し、効率化を図る。 ・定期的に船底の清掃、塗装を行い燃費低下を抑える。
4. 廃棄物の排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別廃棄の徹底 ・両面コピーの徹底 ・ミスプリントの裏面使用 ・社内文書の電子化の推進(共有ファイル、ドロップボックス)
5. LPGの使用削減	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯温度の低温設定の励行 ・小まめな節水の徹底
6. 水資源投入の量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・洗車時に屋上雨水の利用促進 ・使用水量によってはバケツ洗車を行う。 ・引込元栓を調整して、使用水量の低減を図る。
7. 環境配慮作業の教育・訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練計画書に基づき、年1回以上の教育訓練を行う。
8. 地域環境活動	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜清港会の会員として、横浜港湾内の塵芥、漂流物の除去等の環境保全活動に協力参加する。特に清掃用具の寄贈を行う。 ・子安通3丁目自治会会員として、町内美化運動に協力参加する。特にネットゴミ箱、清掃用具の寄贈を行う。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

		最新版確認日	2023/6/30
		確認者	末木三郎
		遵守状況確認	2023/6/30
		確認者	佐久間由恵
関連法規等	遵守事項又は規制内容	最新版確認	遵守状況確認
廃棄物処理及び清掃に関する法律	委託契約書(第14条5項から7項)	○	○
	マニフェストの管理(第12条の3)	○	○
	業許可の更新手続き(第14条2項)	○	○
	運用車両の表示義務、書類携行(第14条12項)	○	○
	処理実績簿の記載(第14条第17項)	○	○
	産業廃棄物処理基準の順守(第14条12項)	○	○
自動車NOX・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用(第4条)	○	○
消防法(危険物)	消火設備の設置・訓練(第8条)	○	○
道路運送車両法	日常点検整備(第47条の2)	○	○
	定期点検整備(第48条)	○	○
道路交通法	廃油の収集運搬車両の適正運行	○	○
フロン排出抑制法	該当する設備の適正管理(第16条)	○	○
資源有効利用促進法	事業用パソコンの回収(第5条)	○	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の適切な引き渡し・料金の支払い(第6条)	○	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引き渡し義務(第8条)	○	○
海洋汚染防止法	事業の許可(第20条)	○	○
	廃油処理施設等の変更許可、届出(第28条)	○	○
	廃油処理施設の適正維持(第30条)	○	○
	廃油の適正処理(第30条)	○	○
	廃油処理施設の技術上の基準(施行規則第14条)	○	○
	廃油処理方法の技術上基準(施行規則第21条)	○	○
	事業実績報告(施行規則第38条)	○	○

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

2022年度の計画の実施状況は、残念ながら、電力使用量とガソリン使用量の大幅な増加により、二酸化炭素排出量の削減は目標に対して1.24%の未達となった。

但し、ウエイトの大きい軽油(タンクローリー)とA重油(船舶)の使用量については効率化等の徹底などで各々目標達成が出来た。

目標未達の原因は、売上増加に伴った事業形態の変化で、遠隔地での作業が増えて移動が増加した事や、廃油処理の受入ランクを広げ、廃油以外の廃水処理の増加などで、大幅に処理時間が増加したことによる。

(2) 見直・指示

(2)-1 環境経営目標、環境経営計画

①2022年度は、大型客船、外国艦隊等が主要な取引先になってきたため、業務形態の変化によりエネルギーの使用量が増加した。特に電力使用量(154.00%増加)、ガソリン使用量は(176.54%)大幅に増加となった。2023年度は軽油、A重油、その他の使用量にも影響が出る可能性もあるので、環境経営目標の基準値を2022年度実績に変更することとした。

②2023年度指示

- ・電力 : 目標未達 原因が売上増による業務形態の変化によるもので、使用量の削減は厳しさが否めないが、既存施策の励行と諸装置等の不要電源OFFの徹底などを継続して実施していく。今年度目標は前年度レベルを維持する。
- ・ガソリン : 目標未達 既存施策の励行で前年度レベルを維持する。
- ・軽油 : 目標達成 使用量増加の可能性もあったが効率的な走行等の徹底で目標達成が出来た。今年度目標は既存施策の更なる徹底で0.5%の削減を図る。
- ・A重油 : 目標達成 既存施策の徹底が功を奏し目標達成が出来た。今年度は引き続き既存施策の励行で0.5%の削減を図る。
- ・LPG : 目標達成 施策を励行し前年度レベルを維持する。
- ・廃棄物(一廃) : 目標達成 既存施策を徹底し今年度は0.5%の削減を図る。
- ・水資源 : 目標未達 備車で増車になった分洗水量が増えて若干の未達となった。今年度は引き続き既存施策の更なる励行で0.5%の削減を図る。

(2)-2 実施体制

エコアクション21推進のための体制を変更することなく維持していく。

(2)-3 環境経営方針

環境経営方針の変更点はあります。